

溝上 慎一の教育論(動画チャンネル) Number9(桐蔭学園)

## ⑤ 「新しい進学校」を目指す桐蔭学園の三つの柱2022 —AL型授業・探究・キャリア教育—

溝上 慎一 Shinichi Mizokami, Ph.D.

学校法人桐蔭学園 理事長  
桐蔭横浜大学 教授

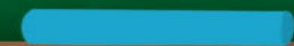
<http://smizok.net/>  
E-mail [mizokami@toin.ac.jp](mailto:mizokami@toin.ac.jp)

学校法人河合塾 教育研究開発本部 研究顧問

【プロフィール】1970年生まれ。大阪府立茨木高校卒業。神戸大学教育学部卒業、1996年京都大学助手、2000年講師、2003年准教授、2014年教授を経て、2019年4月より現在に至る。京都大学博士（教育学）。

\*詳しくはスライド最後をご覧ください

※本動画は溝上が個人的に作成・提供するものです



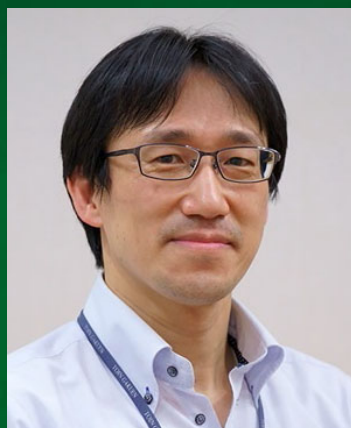
## (ご紹介)



岡田直哉

おかだ なおや

桐蔭学園高等学校  
校長・統括校長



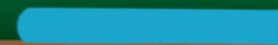
川妻篤史

かわつま あつし

桐蔭学園高等学校教諭  
カリキュラムマネージャー

## (動画の内容)

- AI型授業
- 探究
- キャリア教育
  
- カリキュラム・  
マネジメント



それではご覧ください

# 新しい進学校のカタチ

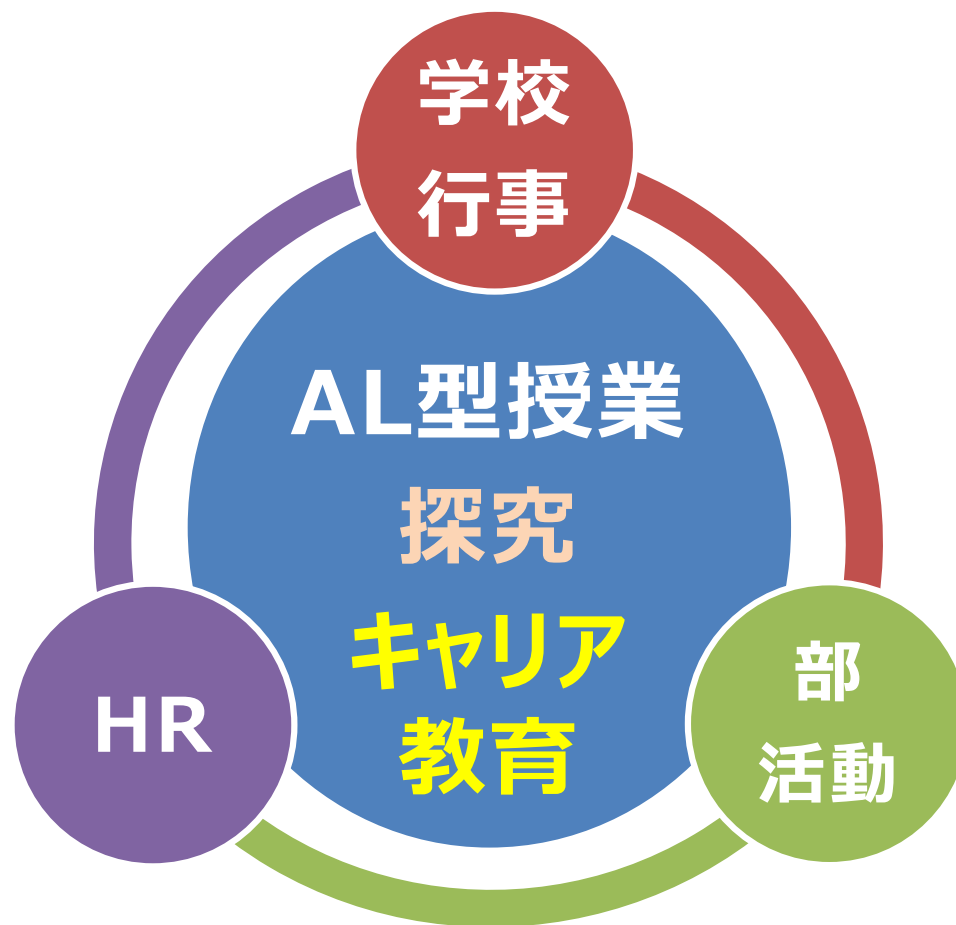


桐蔭学園高等学校



# 学びの3つの柱

---



# 1. アクティブラーニング型授業

一人ひとりが確かな学力をつけられる

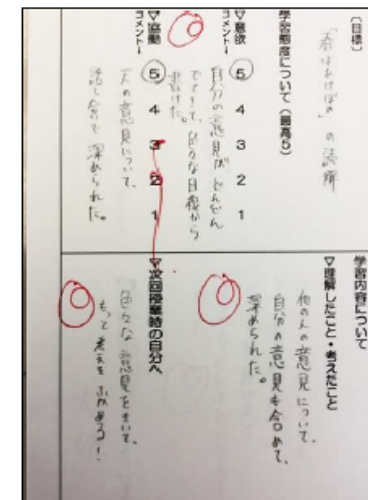
目標の共有後、「個」の学習  
「わかった」と思うけど…



「協働」の学習(アウトプット)  
「あ、そうか!」「なるほど」



最後に「個」で振り返り  
「わかる。大丈夫だ!」



# 授業の様子



## 2. 未来への扉 (みらとび・総合的な探究の時間)

週1時間×2年間

高校1年生			高校2年生		
1学期	2学期	3学期	1学期	2学期	3学期
探究基礎スキルの習得	希望するゼミに分かれて 個人・グループ研究			発表	論文

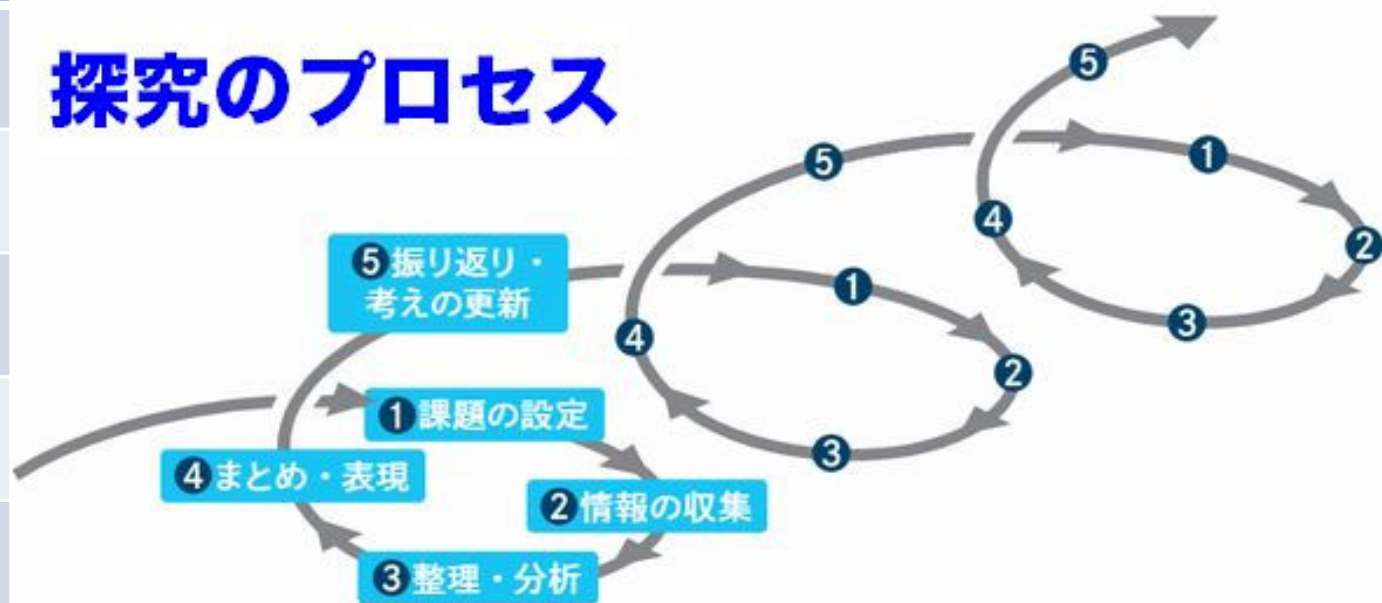


# 高1 1学期 探究基礎スキルの習得

## 授業実績(2021)

1	探究とは？
2	課題の設定・情報収集
3	整理分析・まとめ表現
4	興味のタネを見つける
5	興味のタネを育てる
6	興味のタネを表現する
7	学問領域・ゼミガイダンス

## 探究のプロセス



# 高1 2学期～ 2021年度のゼミの例

---

- ◆心理学ゼミ
- ◆数学・情報ゼミ
- ◆スポーツ社会学ゼミ
- ◆ビジネスプランゼミ
- ◆数学・理科系ゼミ
- ◆外国文化ゼミ
- ◆日本文化ゼミ
- ◆フィジカルサイエンスゼミ
- ◆芸術総合ゼミ
- ◆生活科学ゼミ
- ◆数学と社会ゼミ
- ◆メカゼミ
- ◆サブカルチャー批評ゼミ
- ◆理系徹底探究ゼミ
- ◆人文・社会ゼミ
- ◆国際関係ゼミ
- ◆地域探究ゼミ
- ◆歴史学・社会学ゼミ
- ◆哲学・文学ゼミ
- ◆地理ゼミ
- ◆ケアリングゼミ
- ◆都市計画建築ゼミ

# みらとび発表会・論文執筆

## ◆みらとび発表会(毎年秋頃開催)

中等1年～中等5年

高校1年・高校2年が参加

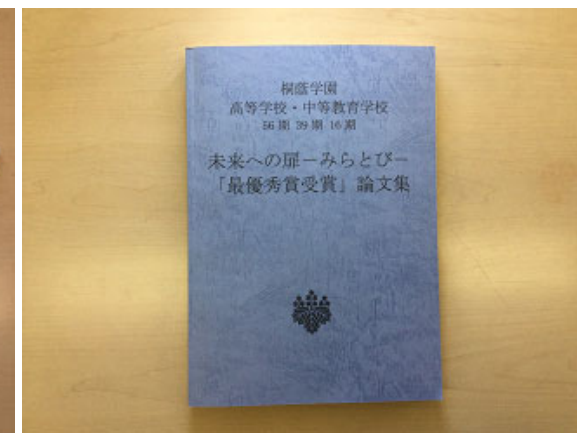
⇒高校では高2が全員発表

高1が聴講



## ◆論文執筆

高2修了時まで論文を全員が執筆





探究のない学び



探究のある**学び**

# 探究の授業って？

---

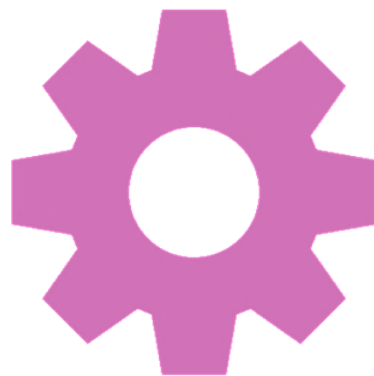
どの教科にも**分類できない**が

どの教科にも**必要**



ギア

**GEAR(歯車)**のようなもの



# 3. キャリア教育

将来への見通しを持ち、  
それに向けて今、何をすべきかを理解し、  
実行することができる力を育てる教育

将来への  
見通しを  
持つ

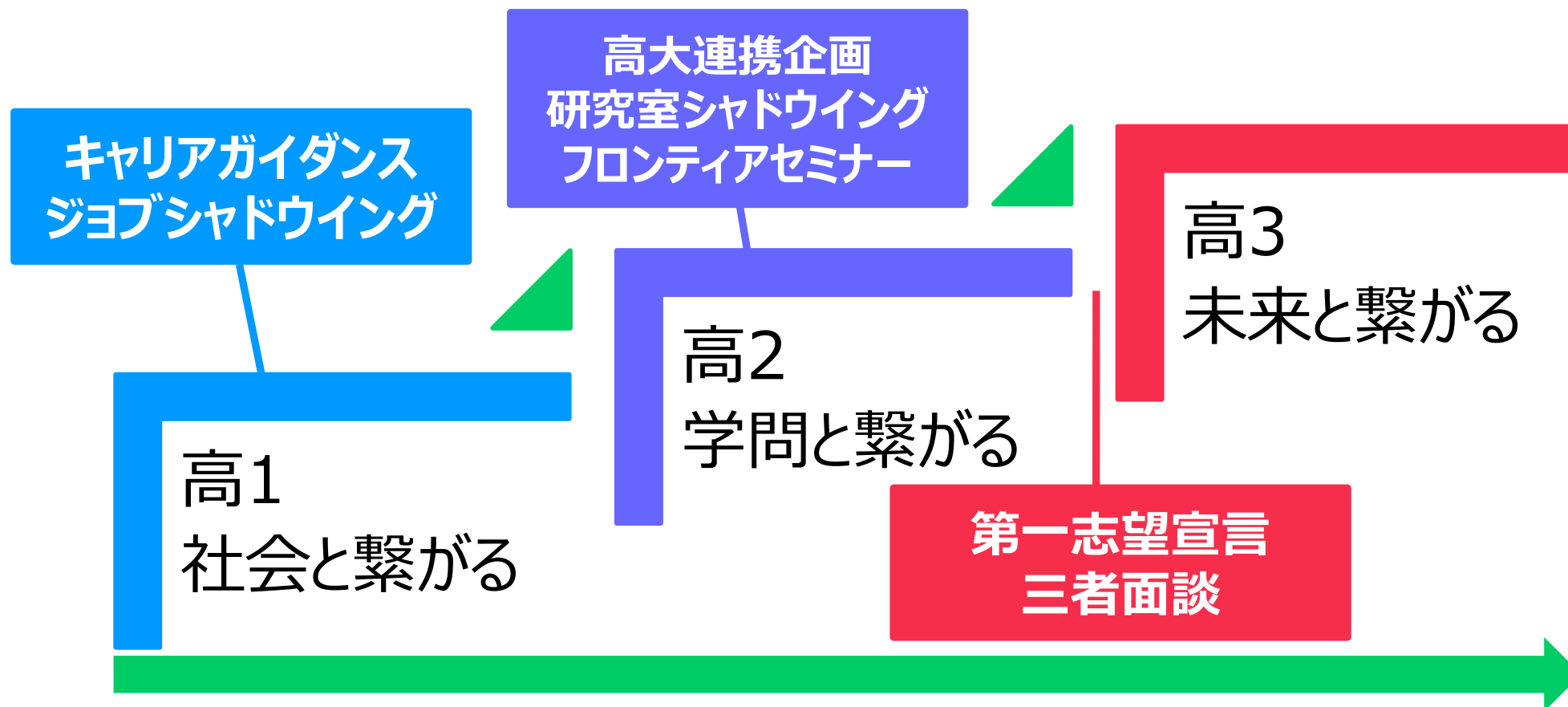
こういう人でありたい！

今、何をすべきか？

理解し、  
実行する



# キャリア教育 3年間のイメージ



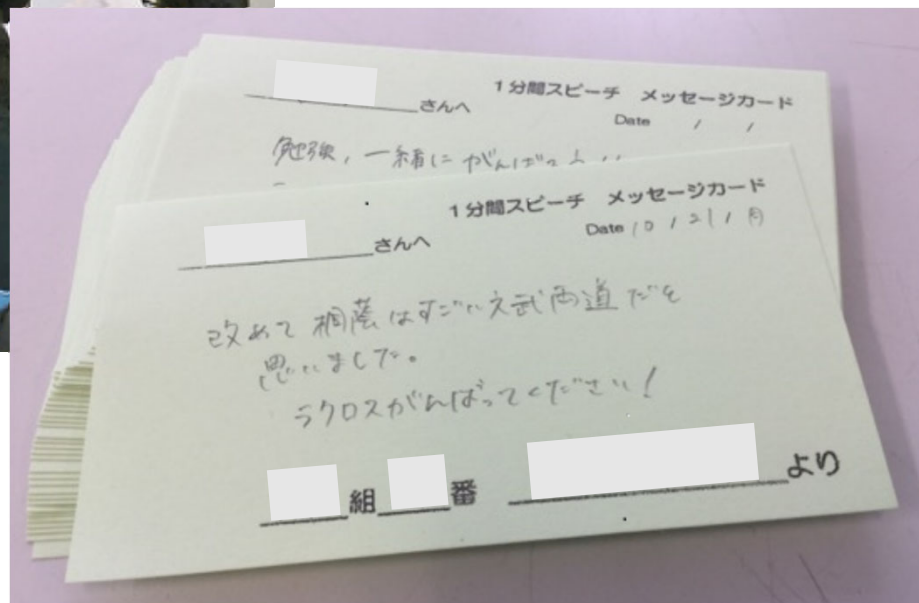
## 日常的なキャリア教育

1分間スピーチ 毎日のふり返り キャリアデザイン授業(LHR)

# “偶然の出会い”を“よい出会い”に～HR～



クラス全員から届く  
「メッセージカード」





# “偶然の出会い”を“よい出会い”に～キャリアデザイン～

## 高1キャリア教育 Career Design① 社会で求められる人材とは？

組	番	氏名
---	---	----

### ◎社会で求められる人材とは

これまで政府や企業が、求められる知識やスキル（技術）を明確な言葉で表現することは多くありませんでした。しかし、近年は「社会人基礎力」（経済産業省）、「人間力」（内閣府）、「学士力」（文部科学省）などのように「……力」という形で求められる力が具体的に示されるようになってきました。これから皆さんに求められる力について一緒に考えてみましょう。

### ◆学習を始める前に

#### ◎ペアワーク・グループワークの「おやくそく」

- ① 全身で話を聴こう！（おへそを相手に向ける） ② 笑顔で話を聴こう！
- ③ 適度にうなずき、人の発言を尊重して承認しよう！ ④ その場を楽しんで積極的に発言しよう！



### 【1】企業採用で重視される力

以下の3×3のマスに、下の語群から「あなたが思う、採用時に企業が重視する能力」を9つ選んでその記号を書き込んでください。




- A.留学経験 B.学業成績 C.論理性 D.専門性 E.信頼性 F.柔軟性 G.コミュニケーション能力  
 H.ストレス耐性 I.責任感 J.語学力 K.一般常識 L.創造性 M.潜在的可能性（ポテンシャル）  
 N.チャレンジ精神 O.誠実性 P.協調性 Q.主体性 R.リーダーシップ S.課題解決能力

（一般社団法人 日本経済団体連合会 2018年度 新卒採用に関するアンケート調査結果より）

◎なぜ上記のように考えたのですか？

→ペア・グループのメンバーと見比べ、そのように考えた理由を共有しましょう。

◎結果を知って感じたこと、考えたこと

他者の意見を聴いて感じたこと、考えたことを書いておきましょう。

### 【2】大学生が企業にアピールした項目

一方、大学生はどのようなことを企業側にアピールしたのでしょうか。以下のランキング表に、下の語群から「あなたが思う、採用時に大学生が企業にアピールした項目」を選んでその記号を書き込んでください。

第1位	44.4%	A.人柄 B.その企業への熱意 C.今後の可能性 D.性格適性検査の結果
第2位	36.0%	E.能力適性検査の結果 F.大学・大学院で身につけた専門性
第3位	32.6%	G.アルバイト経験 H.出身学部・学科・研究科 I.大学・大学院での成績
第4位	20.4%	J.語学力 K.大学・大学院名 L.所属ゼミ・研究室 M.所属クラブ・サークル
第5位	19.4%	N.趣味・特技 O.取得資格
第6位	19.3%	◎なぜ上記のように考えたのですか？
第7位	19.2%	
第8位	19.1%	
第9位	18.1%	→ペア・グループ
第10位	14.1%	◎結果を知って感じた 他者の意見を聴いて

### 【3】社会人基礎力

2006年2月、経済産業省は「職場や地域社会で多様な人（12の能力要素）からなる「社会人基礎力」と定義付けした。

**A 前に踏み出す力（アクション）**  
～事前に読み出し、実現するための準備行動力～

- 主体性
- 目標設定力
- 実行力

**B 考え抜く力（シンキング）**  
～疑問を持ち、考え抜く力～

- 批判的思考力
- 問題発見力
- 問題解決力

**C チームで働く力（チームワーク）**  
～多様な人々とともに、目標に向けて協力～

- 傾聴力
- 協働力
- コミュニケーション力

### ◎社会人基礎力の項目について、1～5の数字で自己評価を

A	(1) 主体性（物事に進んで取り組む力）
	(2) 働きかけ力（他人に働きかけを促す力）
	(3) 実行力（目的を設定し、確実に行動する力）
B	(4) 課題発見力（現状を分析し、目的や課題を明らかにする力）
	(5) 計画力（課題の解決に向けたプロセスを明らかにし、準備する力）
	(6) 創造力（新しい価値を生み出す力）
	(7) 発信力（自分の意見を分かりやすく伝える力）
	(8) 傾聴力（相手の意見を丁寧に聴く力）
C	(9) 柔軟性（意見の違いや立場を理解する力）
	(10) 状況把握力（自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力）
	(11) 規律性（社会のルールや人との約束を守る力）
	(12) ストレスコントロール力（ストレスの発生源に対応する力）



# “偶然の出会い”を“よい出会い”に～キャリアイベント～

## 高1 キャリアイベント

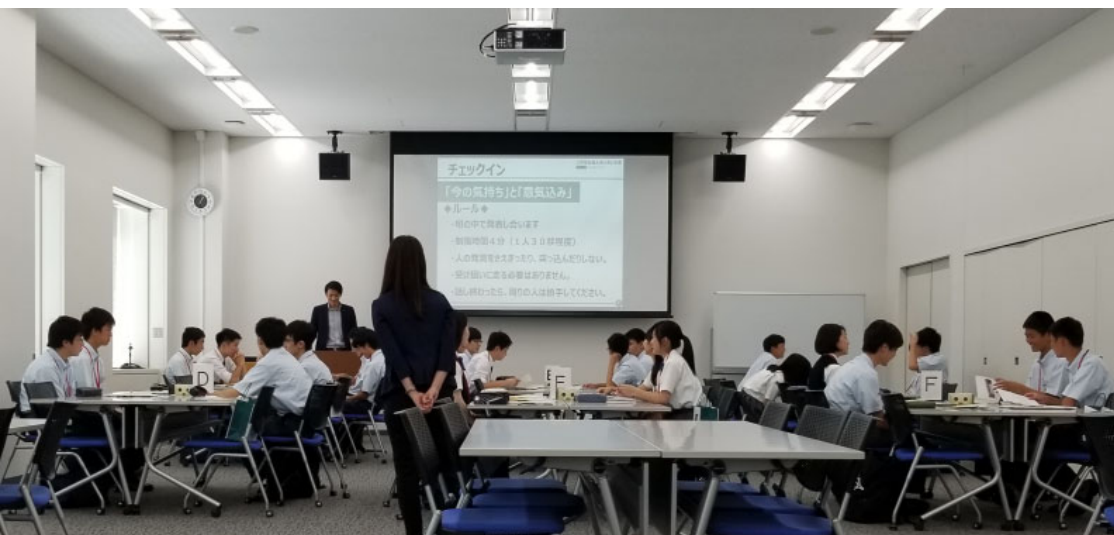
# ジョブシャドウイング

働く大人に寄り添い客観的に仕事を観察することで、一生懸命働く大人の姿から将来どうなりたいか、また進路について様々な気づきを得るキャリアイベント

## 〈過年度 実施実績〉 一部抜粋

- ・日本航空株式会社
- ・株式会社みずほ銀行
- ・清水建設株式会社
- ・大倉山記念病院
- ・ヤフー株式会社
- ・三井住友海上あいおい生命保険株式会社
- ・株式会社神奈川新聞社
- ・世界銀行
- ・クオール株式会社(調剤薬局)
- ・放射線医学総合研究所
- ・ユアサハラ法律特許事務所
- ・エナジープールジャパン株式会社
- ・首里社会保険労務士法人
- ・株式会社日本能率協会  
マネジメントセンター
- ・株式会社NOLTYプランナーズ
- ・株式会社放送衛星システム
- ・OneWorld税理士法人
- ・埼玉医科大学病院
- 他、多数

# “偶然の出会い”を“よい出会い”に～キャリアイベント～



“偶然の出会い”を“よい出会い”に～キャリアイベント～

---

高2 キャリアイベント

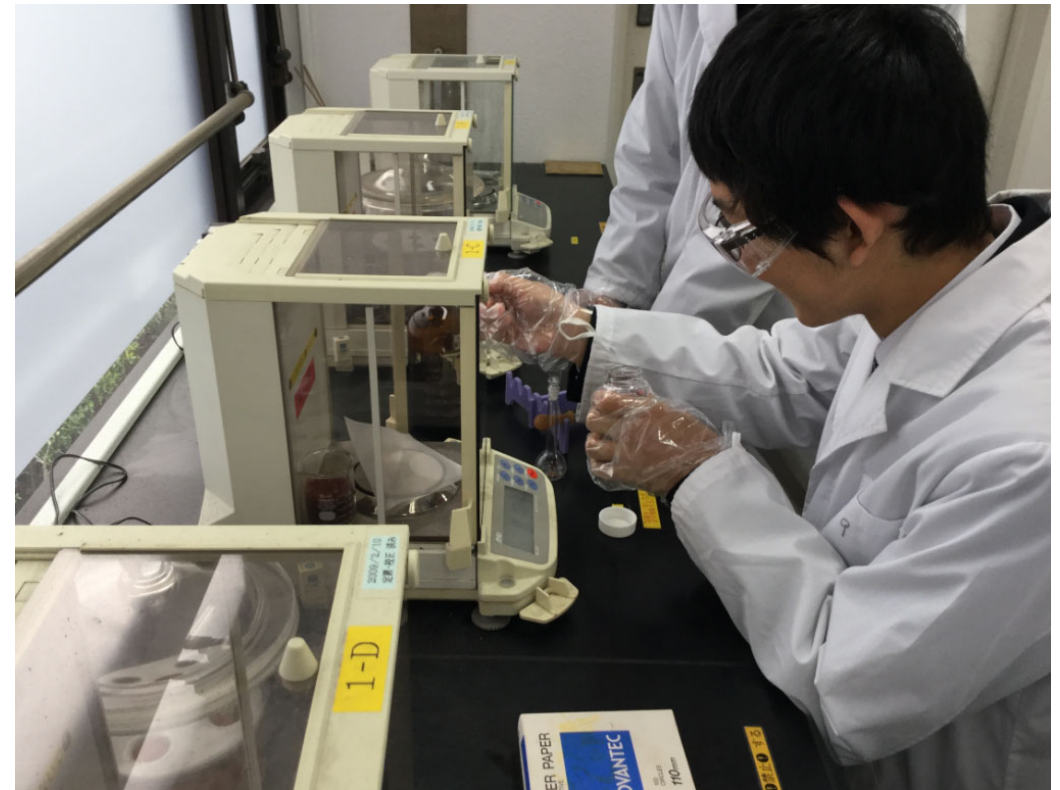
# 研究室シャドウイング

大学の研究室を訪問し、実際に実験や講義、ゼミに参加することで大学の学びを体験するキャリアイベント

## 〈過年度 実施実績〉 一部抜粋

- ・首都大学東京
- ・東京学芸大学
- ・都留文科大学
- ・東京海洋大学
- ・東京理科大学
- ・東京農業大学
- ・法政大学
- ・成蹊大学
- ・日本大学
- ・国土舘大学

# “偶然の出会い”を“よい出会い”に～キャリアイベント～



# “偶然の出会い”を“よい出会い”に～キャリアイベント～



## 高大連携企画

学問の最先端で活躍する  
大学教授によるレクチャー

## フロンティアセミナー

第一線で活躍する社会人による  
講演、ワークショップ



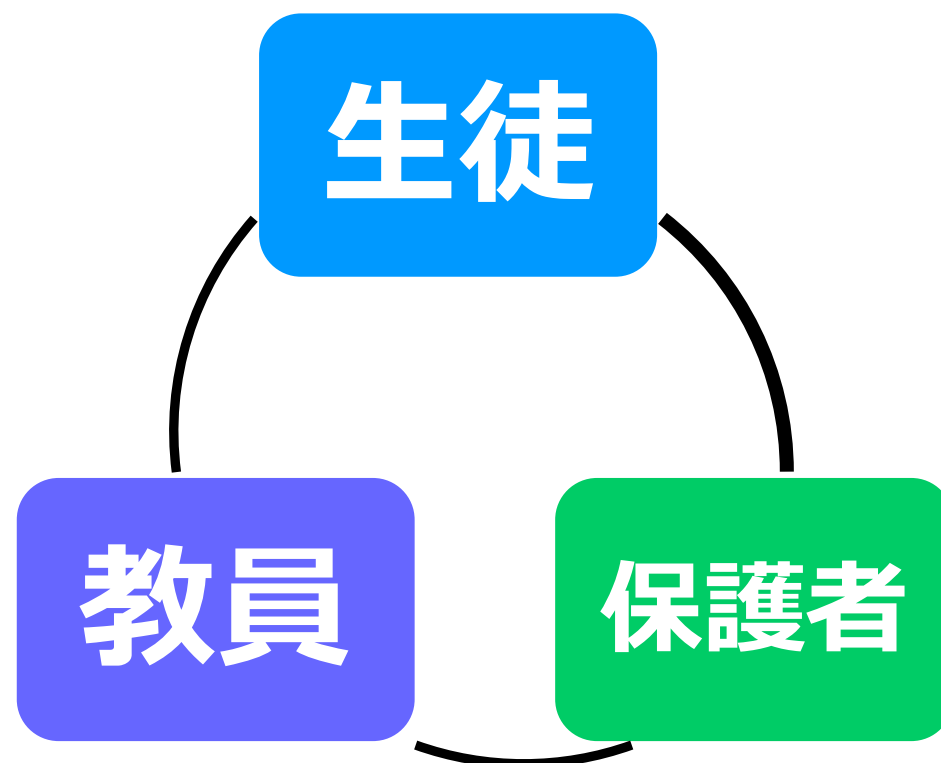


自分の“道”を自分の言葉で語る

---

# 生徒が主役の 三者面談

教員と保護者が  
生徒の宣言に  
「承認メッセージ」を送ることで  
成長のエンジンに火を付ける！





# カリキュラムマネジメント 目標の構造

社会に生きる主体として  
自ら考え判断し行動できる資質能力の育成

改革ビジョン

学校教育目標

「建学の精神」をベースに

学校グランドデザイン

スクールポリシー

学校長期ルーブリック

3本柱

AL型授業  
探究  
キャリア教育

教科グランドデザイン(「探究」含む)

教科長期ルーブリック(「探究」含む)

キャリア教育グランドデザイン

キャリア教育長期ルーブリック

学年別グランドデザイン

科目別年間シラバス・単元別シラバス

授業をベースとした学校改革

学校教育目標を頂点とする  
ピラミッド構造

# 桐蔭学園高校 グランドデザイン

## 【育てたい資質能力】(学校教育目標)

社会に生きる主体として自ら考え判断し行動できる資質・能力の育成

- ①他者を承認した上で、多様な人たちと協働できる
- ②学び続け問い続けながら、探究することができる
- ③自己を知り、将来の見通しを持って自らを高めることができる
- ④未知に挑み、出会いを生かして世界を広げることができる

### 生徒たちの持つ潜在的資質

- ・課題に真面目に取り組もうとする
- ・仲間を思いやり、協力し合おうとする
- ・知的好奇心をもって掘り下げようとする
- ・進路実現に向けて前に進もうとする
- ・出会いを自らの成長に活かそうとする

発達段階に  
応じた指導

指導方法

- ・AL
- ・探究
- ・キャリア教育

### 目指す生徒たちの姿

- ・自ら考え判断し行動している
- ・他者を承認し、協働している
- ・学び続け、問い続けて探究する
- ・自己を知り、将来の見通しをもつ
- ・未知に挑み、世界を広げている

### 何を学ぶ

- ☑学力の3要素を育てる教科カリキュラム  
基礎的な知識技能  
問題解決のための思考力判断力表現力  
学びに向かう力  
※大学受験にもしっかり対応
- ☑問題解決に挑む探究学習プログラム
- ☑大学・社会につながるキャリア教育

### どのように学ぶ

- ☑AL型授業(言語活動)  
個-協働-個／リフレクション／前に出て発表
- ☑探究  
ゼミ活動／発表／論文執筆
- ☑キャリア教育  
HR活動／1分間スピーチ／活動日誌／学校  
行事／キャリア宣言／プレゼン型面談

# 桐蔭学園高校 スクールポリシー

## ①育成を目指す資質・能力に関する方針

本校では、「社会に生きる主体として自ら考え判断し行動できる資質・能力の育成」という教育目標に基づき編成された教育課程において、所定の単位を履修及び習得するとともに、その学修成果として以下に掲げる要件を満たした生徒に対して校長が卒業を認定します。

- 他者を承認した上で、多様な人たちと協働できる
- 学び続け問い続けながら、探究することができる
- 自己を知り、将来の見通しを持って自らを高めることができる
- 未知に挑み、出会いを生かして世界を広げることができる

## ②教育課程の編成及び実施に関する方針

- 3年間という限られた期間のなかで、生徒たちが楽しみながら学び合い、一人ひとりが成長を実感できるカリキュラムを編成します。
- 「個-協働-個」の学習サイクル、「リフレクション」、「前に出て発表」を取り入れたAL型授業を通して、学力の3要素（基礎的な知識・技能、問題解決のための思考力・判断力・表現力、学びに向かう力）をバランスよく育成します。
- 教科カリキュラムや授業外プログラムを通して、日常の学習の積み重ねのなかで、基礎学力の定着を図り、大学受験に対応できる応用力を育成します。
- 問題解決に挑む探究学習プログラムを通して、学び続け問い続けながら探究できる資質・能力を育成します。
  - 〔1年次〕基本的な探究スキルの習得・ゼミ活動
  - 〔2年次〕ゼミ活動・発表・論文執筆
- 日常のHR活動や学校行事、大学・社会につなぐさまざまなキャリア教育プログラムを通して、自己を知り、将来の見通しをもって自らを高めることができる資質・能力を育成します。

## ③入学者の受入れに関する方針

本校では、教育目標に基づき編成された教育課程を通し、「社会に生きる主体として自ら考え判断し行動できる資質・能力の育成」を目指しています。そのため、中学校卒業程度の学力とともに、基本的な生活習慣を有し、特に次に掲げる資質を有する生徒を求めています。

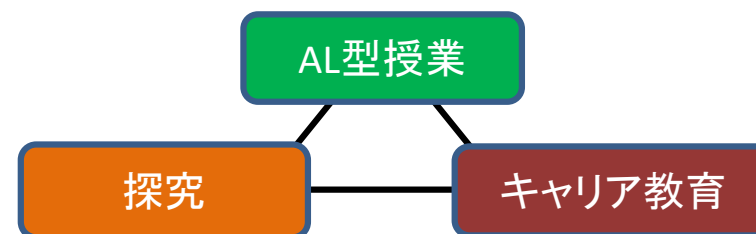
- ・課題に真面目に取り組み、知的好奇心をもって掘り下げようとする
- ・仲間を思いやり、協力し合おうとする
- ・出会いを自らの成長に活かし、進路実現に向けて前に進もうとする

## 桐蔭学園高校 3年間の学びと成長（長期ループリック）

### 【育てたい資質能力】(学校教育目標)

社会に生きる主体として自ら考え判断し行動できる資質・能力の育成

- ①他者を承認した上で、多様な人たちと協働できる
- ②学び続け問い続けながら、探究することができる
- ③自己を知り、将来の見通しを持って自らを高めることができる
- ④未知に挑み、出会いを生かして世界を広げることができる



高1 全力応援！	高2 挑戦！	高3 最後までやり抜く！
<b>目指す姿</b> 自他に気づき、認める	世界を広げ、挑戦する	社会とつなぎ、未来を見通す
<b>教科学力</b> 学習内容を理解している (わかっている) 資料を見ながら説明できる	学習内容を習得している (身につけている) 自分の言葉で説明できる	学習内容に習熟している (深めている) わかりやすく説明できる
<b>リテラシー</b> 問題を見出し、課題が設定できる	仮説を立てて検証し、考察できる	根拠に基づき、的確に批評できる
<b>コンピテンシー</b> 楽しみながら一緒に取り組める	あきらめず声を掛け合って自分で取り組める	取り組むと決めたことをみんなでやり抜く

# 教科グランドデザイン 教科ルーブリック

**教科で育成すべき資質・能力のグランドデザイン** 教科名: 教科名を記入

**【学校教育目標】**  
 社会に生きる主体として自ら考え判断し行動できる資質・能力の育成  
 ①他者を承認した上で、多様な人たちと協働できる  
 ②学び続け問い続けながら、探究することができる  
 ③自己を知り、将来の見通しを持って自らを高めることができる  
 ④未知に挑み、出会いを生かして世界を広げることができる

**【学力の三要素】**  
 ①基礎的な知識・技能  
 ②思考力・判断力・表現力  
 ③学びに向かう力

**A: 何ができるようになるか(育てたい資質能力)**

- ・教科として重点的に育てたい資質・能力を明確にする。
- ・学校教育目標や学力の三要素に基づいたものにする。
- ・「～できる」という形で記し、達成を評価できるようにする。

**B: 生徒たちの実態** → **D: どのような指導を行うか** → **C: 目指す生徒たちの姿**

・成長する前の現状を書く。

・支援が必要な生徒への指導方法について具体的に記す。

・成長後の理想像を書く。

**E: 何を学ぶか(教育課程の編成、学習内容)**

・Aで記した資質・能力を向上させるためにどのような教育内容を実施するのか、具体的に記す。

**F: どのように学ぶか(教育課程の実施、学習方法)**

・Eで記した内容をどのような形で実施するのか。  
 ・実施する際、どのようなところを工夫するのか。  
 ※AI型授業について、必ず盛り込むこと。

**G: 実施するために何が必要か**

- ・必要となる人材・資源を書く。
- ・他の組織との連携が必要な場合もその内容を記載する。
- ・保護者(家庭)・地域との連携についても、必要であれば触れる。

桐蔭学園

教科ルーブリック フォーマット 20210427

中等教育学校 6年間

	レベル1 (等1)	レベル2 (等2)	レベル3 (等3)	レベル4 (等4)	レベル5 (等5)	レベル6 (等6)
基礎的な知識・技能						
思考力 ・判断力 ・表現力						
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 指示・課題に対して素直に取り組もうとしている。</li> <li>● 相手に体を向けて話を聞こうとしている。</li> <li>● 協働ワークに参加しようとしている。</li> <li>● ふり返りを行おうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 指示・課題に対して自分で取り組もうとしている。</li> <li>● 相手の話に真摯に耳を傾けて受け止めようとしている。</li> <li>● 協働ワークにおいて、自他の存在を承認しながら参加しようとしている。</li> <li>● 目標を理解した上でふり返りを行おうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 指示・課題に対してあきらめず取り組もうとしている。</li> <li>● 相手の表現を受けて理解や共感を示そうとしている。</li> <li>● 協働ワークにおいて、協力し合って取り組もうとしている。</li> <li>● ふり返りを通して学びを深め、次に生かそうとしている。</li> </ul>			

# WEBシラバス



## WEB化により、

- 学校・教科別のグランドデザイン、長期ルーブリック、科目別のシラバスがいつでも閲覧できる
- リンクで見やすくできる
- 動画解説が入れられる

WEBシラバス ホーム  
 ⇒科目別シラバス  
 ⇒単元別シラバス  
 ⇒動画解説

<p><b>科目別シラバス</b>                  【部署・コース・学年】</p> <p>【教科名・科目名(単位数)】</p> <p>【レッスン体系】</p> <p>【使用教材】</p> <p>【教科・科目で育てたい資質・能力】※教科グランドデザインから</p> <p>【教科・科目の魅力・面白さ・学ぶ意義】</p> <p>【年間学習到達目標・評価規準】※教科の長期ルーブリックから                  《観点(1):知識・技能》                  《観点(2):思考・判断・表現》                  《観点(3):主体的に学習に取り組む態度》</p> <p>【言語活動】(中等前期のみ)</p> <p>【評価】                  各学期                  《小テスト単元テスト》                  《パフォーマンス課題》                  《期末考査》                  《主体的に学習に取り組む態度》                  年間                  《小テスト単元テスト》                  《パフォーマンス課題》                  《期末考査》                  《主体的に学習に取り組む態度》</p> <p>【実力考査・アチーブメントチェック・模試】                  《模試》                  《アチーブメントチェック》</p> <p>【学習内容(単元名・配当時間のみのみ)】                  《1学期》                  《2学期》                  《3学期》                  【授業を充実させるために】</p> <p>【授業外学習を充実させるために】</p> <p>【長期休み課題】                  《連休中》                  《夏休み》                  《冬休み》                  《春休み》</p>	<p><b>単元別シラバス</b>                  【部署・コース・学年】</p> <p>【教科名・科目名(単位数)】</p> <p>【単元名】</p> <p>【CAN-DOリスト(単元到達目標・評価規準)】                  《観点(1):知識・技能》                  《観点(2):思考・判断・表現》                  《観点(3):主体的に学習に取り組む態度》</p> <p>【学習内容】※可能であれば、動画と問いを入れる</p> <p>【評価情報】                  《小テスト単元テスト》                  ※出題範囲などを示す                  《パフォーマンス課題》                  ※「本質的な問い」を示す                  ※実施方法                  《期末考査》                  ※学習しておくべきことなどを示す</p> <p>【学びを深めるために】※書籍、WEBページ、動画などを紹介する</p> <p>【その他】</p>
---	---

# 桐蔭学園高等学校 キャリア教育グランドデザイン 長期ルーブリック

## 自分の力で『自らの人生』を切り拓く力の育成

①将来の見通しを持つことができる ②そのために今何をすべきか、理解し、実行できる

基礎的・汎用的能力	能力育成のための主な取り組み
①かかわる力 (人間関係形成能力)	【SHR】1分間スピーチ 【授業】AL型授業 【課外活動】アフタースクール(任意)
②みつめる力 (自己理解・自己管理能力)	【SHR】活動日誌 【LHR】学びの手引き 【進路指導】学びみらいPASS
③やりぬく力 (課題解決能力)	【行事】学園祭 【授業】未来への扉(探究) 【課外活動】委員会等 【進路指導】大学受験対策
④かなえる力 (キャリアプランニング能力)	【LHR】キャリアデザインワーク 【進路指導】文理・科目選択、模試の受験と活用

1年

### 社会とつながる

フロンティアセミナー  
ジョブシャドウイング(任意)

「なぜ人は働くのか」「社会で求められる人材とは」「キャリアアンカーとは」といったワークを通じて、働くことの意義や社会に貢献することの重要性を理解できる。

2年

### 学問とつながる

3年間のキャリアイベント

卒業生ガイダンス  
研究室シャドウイング(任意)

#### LHRにおけるキャリアデザインワーク

自己分析を通じて内的キャリアに気付くことができる。さらに、進路選択のための基本的な考え方や大学について知り、学ぶことの意義を理解できる。

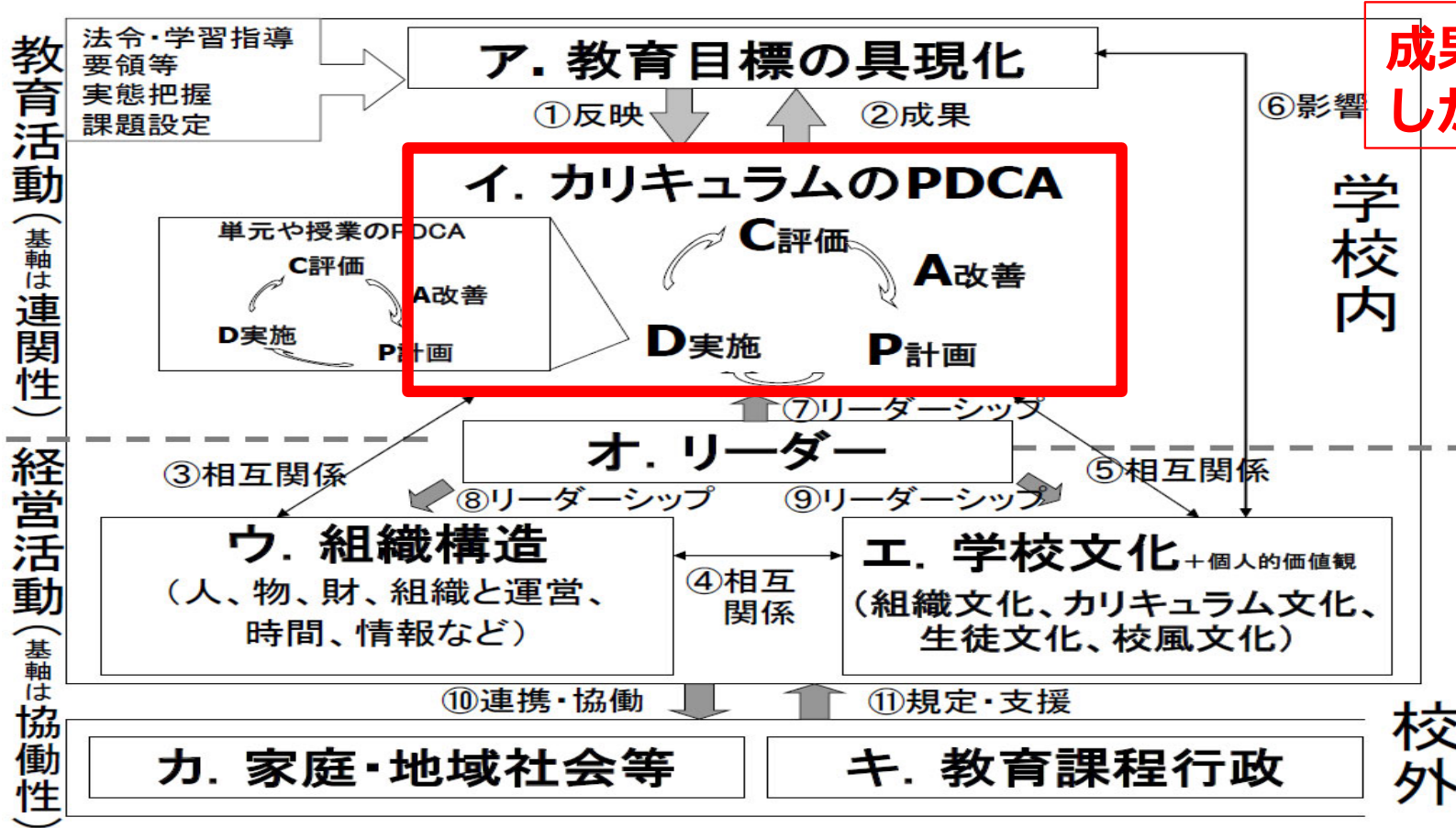
3年

### 未来とつながる

プレゼン型三者面談  
キャリア宣言

模擬試験の分析等を通じて、自分の立ち位置を知り、志望校合格に向けたプランニングをすることができる。

# カリキュラムマネジメント PDCAサイクルを回す教学IR



成果が得られた実感。  
しかし、あくまで印象。

エビデンスによる  
効果検証  
⇒教学IR

- ・ 模試
- ・ 学びみらいPASS
- ・ 生徒アンケート
- ・ 英検など

田村知子・村川雅弘・吉富芳正・西岡加名恵／編著  
「カリキュラムマネジメント・ハンドブック」



# AL型授業・探究・キャリア教育の効果検証

## 学力の3要素（教科学力,リテラシー,コンピテンシー）

教科学力とコンピテンシーの観点から4つに分類

- ①上（○△○+○○○） →教科学力・コンピテンシーともに○
- ②中上（△△○+△○○） →教科学力△、コンピテンシー○
- ③中下（○△△+○○△） →教科学力○、コンピテンシー△
- ④下（△△△+△○△） →教科学力・コンピテンシーともに△

模試では測れない  
教科学力以外の「学力」にも注目



高1・高2で実施

### 考える力=リテラシー



- ・情報を集める力（情報収集力）
- ・情報を分析する力（情報分析力）
- ・課題を見つける力（課題発見力）
- ・解決策を考える力（構想力）

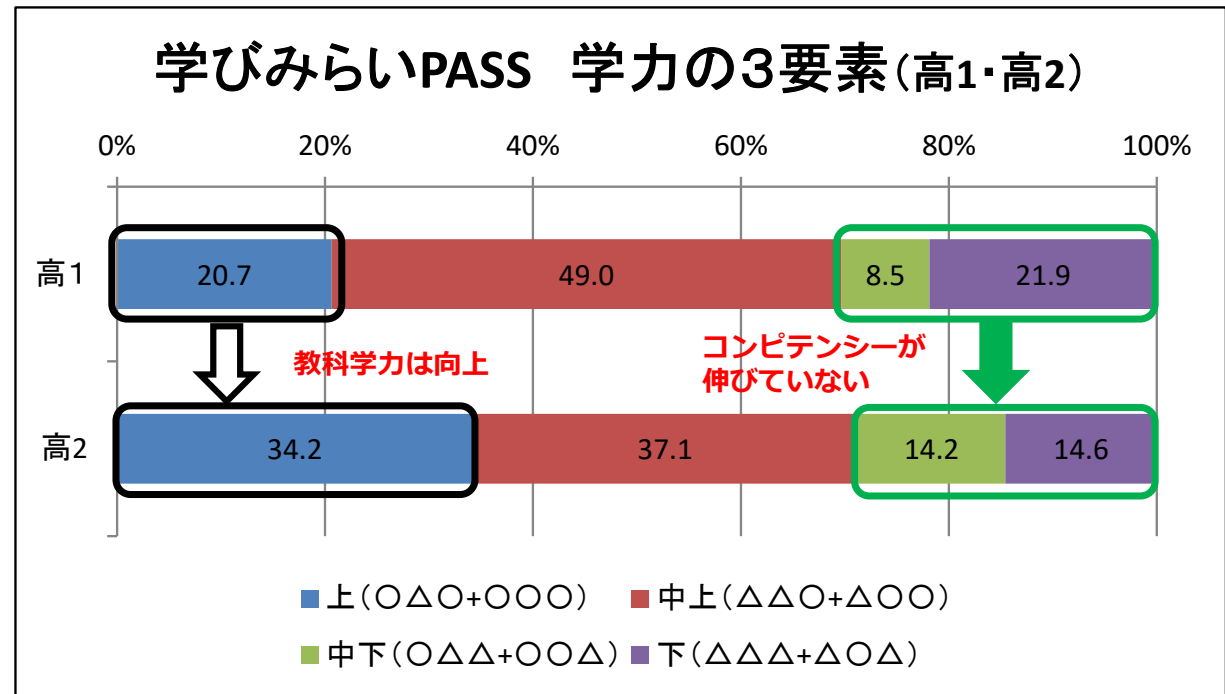
探究的な学習や日常  
学習で伸びる力  
(学年が上がると伸びる傾向あり)

### 行動する力=コンピテンシー



- ・人と関わる力（対人基礎力）  
→親和力・協働力・統率力
- ・自分をコントロールする力（対自己基礎力）  
→感情制御力・自信創出力・行動持続力
- ・ふり返り、主体的に取り組む力（対課題基礎力）  
→課題発見力・計画立案力・実践力

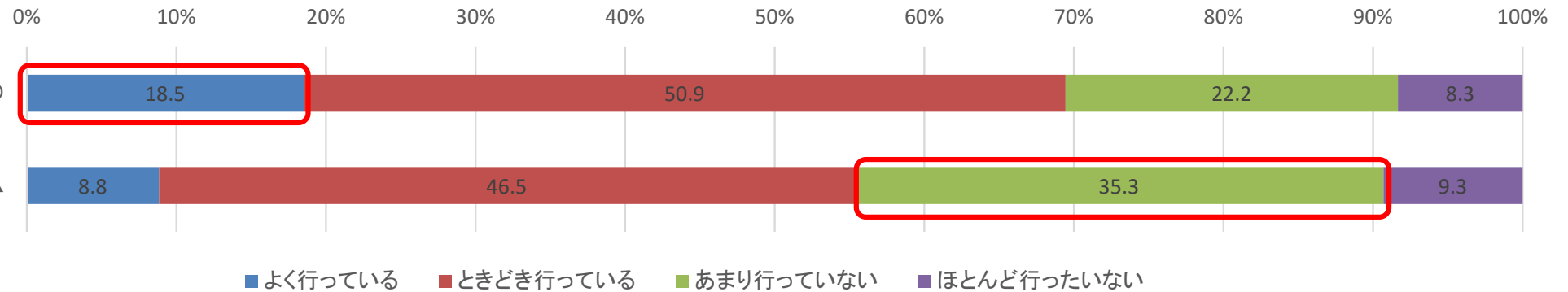
容易に伸びない力だが、社会  
で活躍する上では重要な力



## AL型授業でコンピテンシーは伸びたのか？

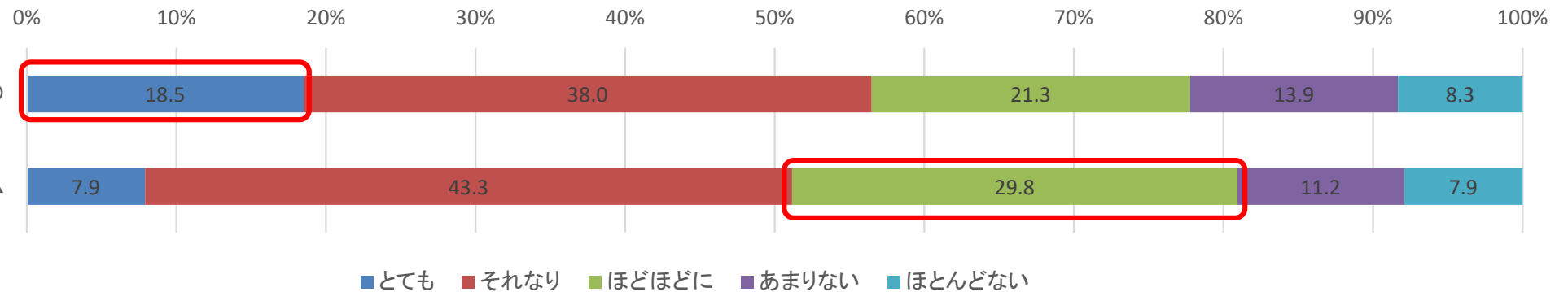
コンピテンシー変化(高1→高2) × 授業で意見を聞いて考える(高2)

$\chi^2(4)=9.948, p<0.05$



コンピテンシー変化(高1→高2) × 授業のふり返りが次の学びにつながっている(高2)

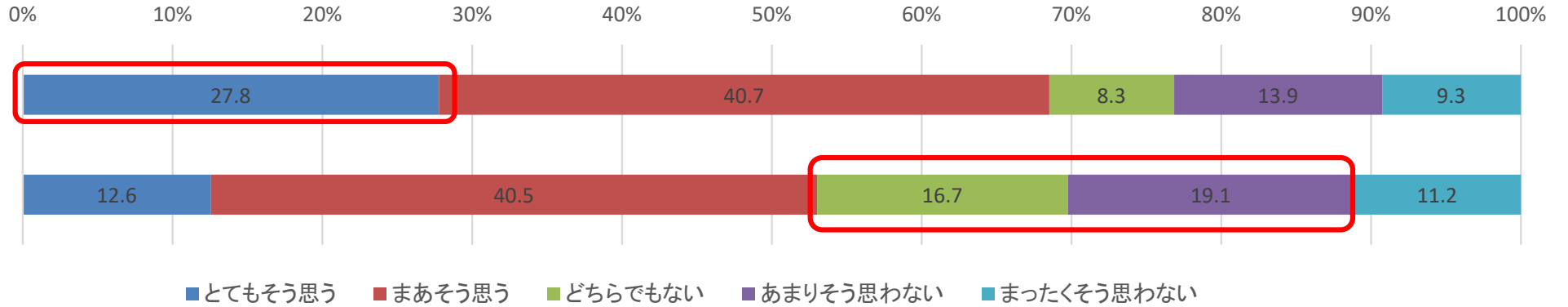
$\chi^2(4)=9.926, p<0.05$



# 探究（みらとび）でコンピテンシー・リテラシーは伸びたのか？

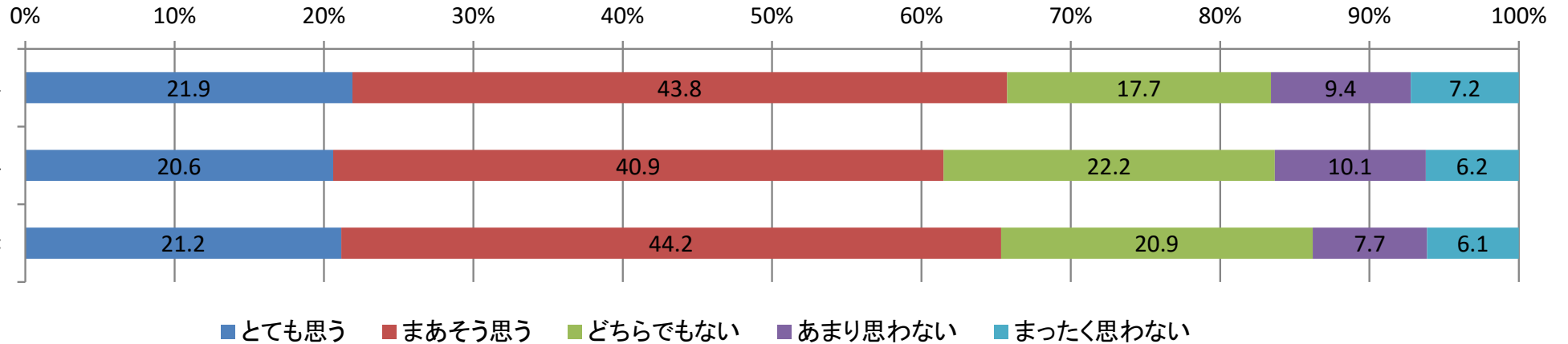
コンピテンシー変化（高1→高2）× みらとびで世界がひろがった（高2）

$\chi^2(4)=14.448, p<0.01$



みらとびの授業で、自分で考えたり、調べたりするようになりましたか（高2）

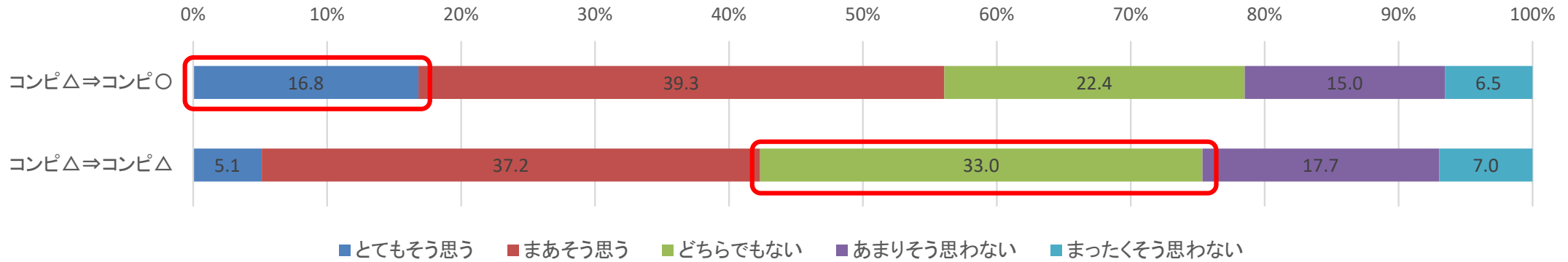
$\chi^2(8)=4.094 p=0.84 (n.s.)$



## キャリア教育でコンピテンシーは伸びたのか？

コンピテンシー変化(高1→高2) × キャリア教育で将来の見通しをもって自己を高めた(高2)

$\chi^2(4)=14.002, p<0.01$



コンピテンシー変化(高1→高2) × 「一分間スピーチ」で自己理解が進んだ(高2)

$\chi^2(4)=20.444, p<0.01$

